



6 月度定例会報告

相模総合補給廠の跡地利用をテーマに、総勢 34 名が集まりました！

相模総合補給廠は 2013 年度末までに一部用地が返還予定ですが、この跡地利用について、市の都市整備課を講師に招き定例会を開催しました。市からは、JR 相模原駅前に広がる約 12.5ha の跡地利用について、①周辺住宅地との連携を意識した**コミュニティゾーン**、②様々な交流が生まれることを意識した**インタラクティブゾーン**、③駅が隣接し、相模原の玄関口となることを意識した**シティゲートゾーン**に色分けを行い、同時に災害強く、人にやさしい（バリアフリー等を考

慮した）まちづくりを進めたいとの説明がありました。

また、中嶋副会長から都産研が掲げる「グリーンコンパクトシティ」のイメージに基づく、相模総合補給廠跡地利用について説明をしました。そのうえで、①将来的に日本の人口が減少していくことを意識すること、②日本だけでなくアジアや世界からの集客について提案しました。具体的案としては、相模原のシンボルとなることを目的とした（仮称）さがみソーラータワーの建設や、メディカルツー

リズム（医療観光）を意識した施設の設置などがありました。

子供たちに明るい未来を託すため、今こそオヤジが知恵を絞るとき！ですよね。（唐澤）



都産研 HP にて、当定例会で発表した都産研の提案資料をご覧くださいませ

提案資料は次の 6 項目に分けて公開しております。ぜひご覧ください。

<http://www.tosanken.net/>

1. グリーンコンパクトシティについて 連携による街づくり ほか
2. 相模補給廠跡地 相模に人を呼ぶ戦略的利用提案 ほか
3. 自立都市を支える戦略的誘導用途
4. ①相模原の世界戦略 1 アジアの人々を呼ぶ「（仮称）さがみソーラータワーのすすめ」
②相模原の世界戦略 2 アジア～世界の人々を呼ぶ「メディカルツーリズム（インバウンド医療観光）」
5. 自立都市相模原を支える戦略的誘導用途によるゾーニング計画案
6. 5 に引き続き、新都市開発可能エリアのゾーニング案

みてみてワン



新入会員紹介

金子政明様（小田急不動産株式会社）



この度、小野副会長、八木理事のお誘いを受け、都産研の皆様のお仲間にならせて頂くこととなりました金子と申します。オブザーバーとして定例会に 2 回ほど参加いたしました。今後も継続して参加したいと思い、正式に会員にさせて頂きました。ありがとうございます。

私は、生まれも育ちも相模原の 52 歳です。大学を卒業後、当時、相模原市に本店を置く「相模原信用組合」に入職し、現在は、土地・住宅・マンション等の売買仲介

業務をメインに「小田急不動産株式会社 相模大野店」で副店長として勤務しております。

今まで、この相模原市に居住しながら市内の変化を直視したり、今後の発展を考えたりしたことは無かったかと思いますが、これを起に、勉強させて頂きながら、今後の都産研の活動に参加させて頂こうかと思います。どうぞよろしく願いいたします。

7 月度定例会のご案内

日時 平成 23 年 7 月 13 日（水） 19:00～
場所 相模原市立産業会館 大研修室（3 階）
テーマ 産業（自立都市の基盤）について

7 月の定例会は、相模原市内の産業をテーマに、新産業の創出や、企業立地構想等について、市産業雇用政策課を講師にお招きし、勉強会を開催する予定です。6 月の定例会は 34 名もの参加者が集まりました。今回も多くの皆様の参加をお待ちしております。[担当：田口幸男、八木千露、佐藤博]

★会員以外のオブザーバー参加を常に大歓迎しています！

定例会に関するご質問・お問い合わせは事務局 林までお気軽に！e-mail (t-hayashi@ssp21.or.jp) 電話 042-753-8131